

埼玉県環境科学国際センター 嶋田知英、三輪誠、埼玉県環境部みどり自然課 伊藤麗子、  
NPO法人自然観察指導員埼玉 小峯昇

埼玉県では、平成21年度から平成27年度の間、県内の生物多様性情報を収集するため、生物多様性保全活動団体の協力を得て「県民参加生き物モニタリング調査」を行なった。本調査は各団体の活動拠点を中心としたモニタリング調査で、埼玉県の基礎的的生物情報を得ることが出来た。この調査の過程で外来生物の拡大実態が明らかとなった。

そこで、平成28年から外来生物の面的な分布や生育・生息状況を把握するため、あらためて各団体に呼びかけ「侵略的外来生物県民参加モニタリング調査（外来種県モニ）」を開始した。

調査方法

- 外来種県モニの運営は、NPO法人自然観察指導員埼玉に委託。
- 県内生物多様性保全活動団体に呼びかけ、調査参加希望団体を募り実施。
- 埼玉県全体を3次メッシュ(世界測地系)に分割し、メッシュ単位で調査を実施(県全体のメッシュ数は3859メッシュ)。
- 特定外来生物や緊急対策外来種など植物76種、動物20種を重点調査対象種として指定。
- 調査はメッシュ内を踏査し、確認した外来生物を記録し報告。
- 調査対象メッシュが重複しないよう調整。

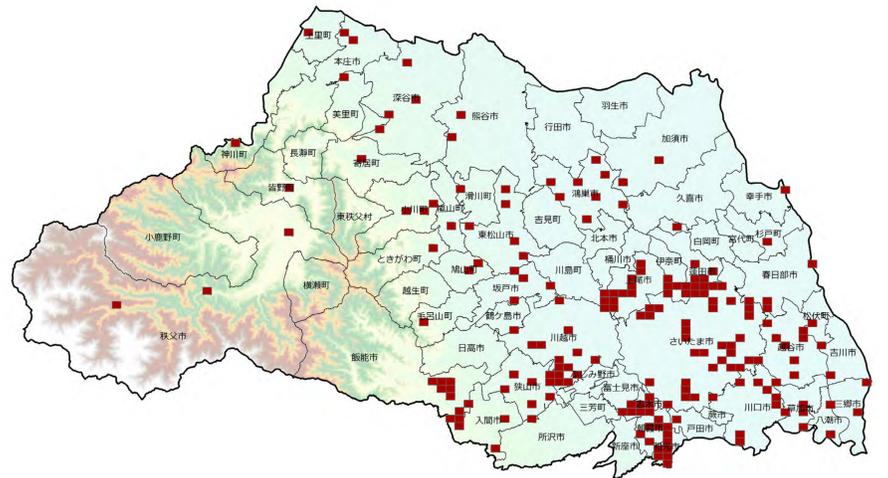
平成28年度の調査状況

- 平成28年度の外来種県モニには36団体が参加した。
- 調査予定3次メッシュ数は、204メッシュとなり、県全体のメッシュの5.3%を占めた。

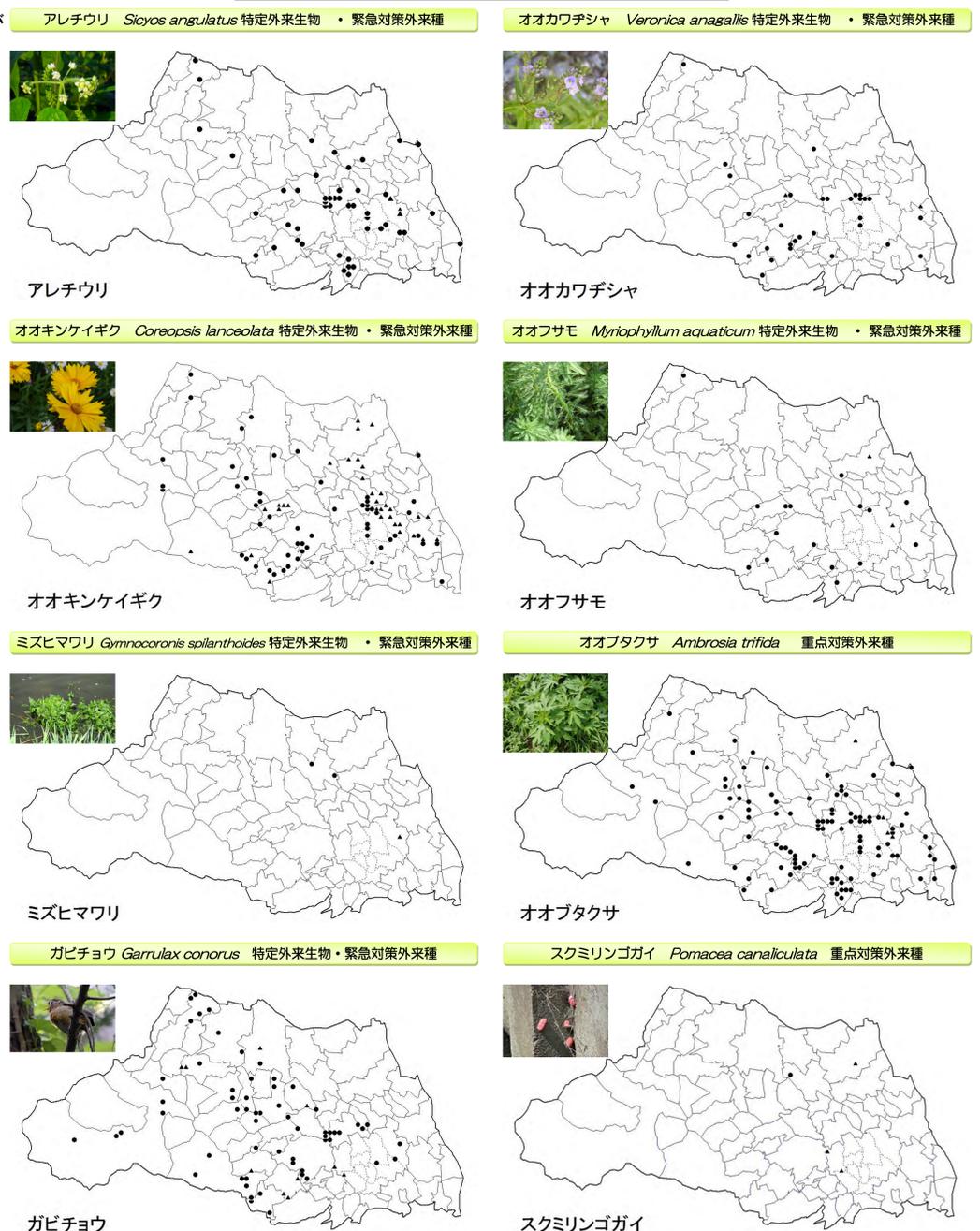
平成28年度中間報告と今後

- 平成28年7月末現在の外来生物報告件数は、植物207種6087件、動物14種378件であった。
- 本調査は今後数年間継続的に実施することを計画しており、その結果、埼玉県における外来種の面的な分布実態が把握出来ると期待される。

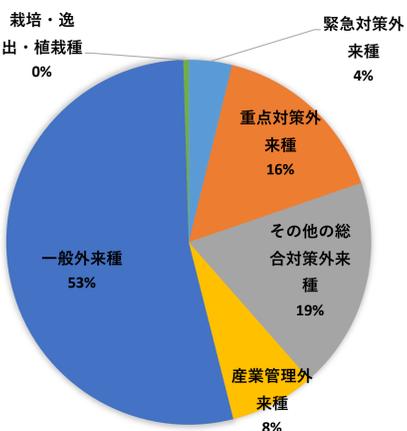
平成28年度調査対象メッシュ



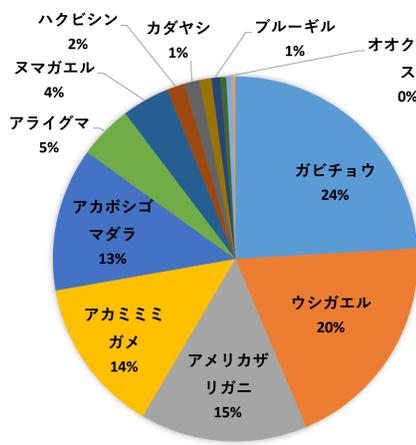
主要種の確認地点



植物 外来種ランク別報告件数比



動物 外来種種別報告件数比



植物 緊急対策外来種・重点対策外来種の報告件数

